

# Mizuho Daily Market Report

2023/7/28

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	139.96	139.48	▲0.76	▲0.59
EUR	1.1130	1.0979	▲0.0107	▲0.0151
AUD	0.6816	0.6709	▲0.0049	▲0.0070
SGD	1.3222	1.3315	+0.0061	+0.0045
CNY	7.1357	7.1675	+0.0244	▲0.0121
MYR	4.5178	4.5238	▲0.0249	▲0.0195
THB	34.06	34.08	▲0.17	+0.09
IDR	15004	15000	▲18	+12
PHP	54.56	54.56	▲0.06	+0.03
INR	81.95	81.94	▲0.06	▲0.05

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.998%	+13.1 bp	+14.8 bp
日本(10年)	0.450%	▲0.5 bp	▲1.7 bp
ユーロ圏(10年)	2.474%	▲1.1 bp	+1.7 bp
オーストラリア(5年)	3.768%	▲9.0 bp	▲7.9 bp
シンガポール(5年)	2.955%	▲6.4 bp	▲3.1 bp
中国(5年)	2.423%	▲1.2 bp	+2.3 bp
マレーシア(5年)	3.569%	▲2.7 bp	+1.7 bp
タイ(5年)	2.359%	+0.0 bp	+1.6 bp
インドネシア(5年)	5.958%	▲0.4 bp	+6.5 bp
フィリピン(5年)	6.158%	+2.1 bp	+9.3 bp
インド(5年)	7.111%	+3.5 bp	+4.8 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	35,282.72	▲0.7%	+0.2%
N225(日本)	32,891.16	+0.7%	+1.2%
STOXX50(ユーロ圏)	4,447.44	+2.3%	+1.7%
ASX(オーストラリア)	4,198.69	+0.2%	+0.5%
FTSTI(シンガポール)	3,337.42	+1.0%	+1.9%
SSEC(中国)	3,216.67	▲0.2%	+1.5%
KLSE(マレーシア)	1,451.27	+0.1%	+3.2%
SETI(タイ)	1,543.27	+1.2%	+1.5%
JKSE(インドネシア)	6,896.663	▲0.7%	+0.5%
PSE(フィリピン)	6,677.92	▲0.0%	+1.0%
SENSEX(インド)	66,266.82	▲0.7%	▲1.9%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	280.17	▲0.2%	+2.0%
金	1,946.00	▲1.3%	▲1.2%
原油(WTI)	80.09	+1.7%	+5.9%
銅	8,528.00	▲0.6%	+0.8%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	138.50	—	140.00
EUR/USD	1.0950	—	1.1070
AUD/USD	0.6660	—	0.6760
USD/SGD	1.3220	—	1.3350
USD/CNY	7.1200	—	7.1800
USD/MYR	4.5200	—	4.5860
USD/THB	34.00	—	34.80
USD/IDR	14980	—	15080
USD/PHP	54.40	—	54.88
USD/INR	81.90	—	82.30

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は140円台半ばの水準でオープン。米金利が低下する展開にドル売りが優勢となると139円台半ばまで下落。下落一巡後は値をやや戻し140円を回復。結局140円台前半の水準で海外時間へ。アジア通貨は概ね上昇。マレーシアリンギットとタイバーツが上昇を牽引。米金利低下に伴いドル売りの流れが継続する中、アジア通貨は堅調推移となった。

海外時間のドル円はアジア株の堅調な展開を背景に反発し140円台を回復し、140円台前半の水準でNYオープン。NY時間朝方に発表された米第2四半期GDP(一次速報)が予想を上回り、同時に発表された米6月耐久財受注(前月比)も予想を上回った。さらに新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数も予想より良好な内容となった事からドル買いが強まり、ドル円は141円台前半の水準まで上昇する。NY時間午後是一部で報道された「日銀がYCC修正案を議論」との速報が伝わったことから円買いが強まり、139円台前半まで急落する。その後も円買いが続き、138円台後半まで下げ幅を拡大。円買い一巡後は139円台半ばまで戻しクロスとなった。

## 【金利】

米債市場はカーブがベア・スティーブ化。好調な各経済指標の結果を受けて、中期ゾーンを中心に金利上昇。その後は軟調な7年債入札やYCC修正の観測報道を受けて、引けにかけて長期ゾーン中心に一段と金利上昇。

## 【予想】

本日のドル円は日銀会合の結果次第で上下しよう。YCC修正が結局議論レベルに留まり政策据え置きとなれば、昨日の下げを取り戻す展開となろう。仮に昨夜の報道の通り、長期金利の上限は0.5%で据え置くものの市場動向に応じて0.5%を一定程度超えることも容認、となれば円高で反応しようが、昨年12月の行われたYCCの変動幅修正と比較すれば修正は軽微であり、円高進行の幅は限られるだろう。

## 【本日の予定】

(日本) 日銀 展望レポート、日銀 金融政策会合、植田日銀総裁会見  
(アジア) 2Q シンガポール URA民間住宅価格(確)  
(アジア) 2Q 豪 PPI  
(アジア) 6月 フィリピン 銀行貸出動向  
(アジア) 6月 豪 小売売上高  
(アジア) 休場 夕  
(欧州) 7月 ユーロ圏 景況感 / 消費者信頼感(確)  
(欧州) 7月 ユーロ圏 鉱工業信頼感指数 / サービス業信頼感指数  
(欧州) 7月 独 CPI(速)  
(欧州) 7月 英 全国住宅価格  
(米国) 2Q 雇用コスト指数(確)、6月 個人所得 / 個人支出 / 実質個人支出、個消費物価デフレーター / PCEコアデフレーター、7月 カンザシティ連銀サービス業活動、7月 ミシガン大学消費者マインド(確)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。